

庶務一般

職 員 の 職 氏 名 (昭和37年度)

場 長 西田 稔
 庶務部 部長 福満豊次 主事 田平清次 主事 富山邦彦(37,7転入)
 主事補 野村敏雄(37,7転出) 主事補 松田正信 主事補 西郷さよ
 主事補 川上敦子(38,3転出)
 漁業部 部長 上野 茂 主任研究員 塩田正人 研究員 永浜 猛
 研究員 竹下克一 技師 岩倉 栄 技師 川上市正 技師 肥後道隆
 特臨 坂元節子 技師 志摩孝之丞(37,7転出)
 養殖部 部長 豊田茂樹 研究員 瀬戸口 勇 研究員 新村 燾
 技師補 藤田征作(37,4新採) 技師補 東 邦彦(37,7転出)
 製造部 部長 石神次男(37,7転入) 部長 谷元啓佑(37,7転出)
 研究員 藤田 熾(37,7転出) 技師 下窪 諭(37,7転出)
 技師 是枝 登(37,4鹿大から転入) 技師補 木下耕之進
 調査部 部長 畠山国雄 研究員 九万田一巳 技師 上田忠男 技師 荒牧孝行
 技師 宮田幸蔵(37,7転出) 技師 武田健二(37,4新採)
 特臨 深見晴代
 大島分場 分場長 前田耕作 主事 永田清嗣 主事補 尾崎末男 主事補 登山恒子
 (37,4転入, 38,2退職) 技師 岩元浅雄(37,7転出)
 研究員 藤田 薫(37,7転入) 研究員 山口昭宜 研究員 徳留陽一郎
 研究員 弟子丸 修 技師 椎原久幸 技師補 奥島可夫
 技師補 隆 忠法(37,4新採, 38,3退職)
 大口養魚場 養魚場長 水流 実 技師補 小山鉄雄 労務手 池田正徳
 特臨 児島史郎 特臨 竹下一正 特臨 吉村和忠
 (昭南丸) (船長)技師 後奥英雄 (機関長)技師 成尾準夫 (局長)技師補 川原力
 技師 白石与藤雄 技師 日高 照 船舶手 藤井美吉 船舶手 瀬下 実
 船舶手 南新清志 船舶手 中尾 燾 船舶手 石場 護
 船舶手 吉原 昇 船舶手 山口義治 船舶手 是枝武盛 特臨 岩田辰二
 (37,4転出) 特臨 杓瀬清次(37,4転出) 技師 大竹 清
 船舶手 上村 勲 特臨 佐野正八郎(36,10採) 特臨 竹内 喬(37,1
 採) 特臨 青屋 明(37,9採) 特臨 若松昭人(37,10採)
 (かもめ) (船長)技師 杜山光二 (機関長)技師 中尾壽内 (局長)技師補 帳地純隆
 (36,11退職) (局長)技師補 下山正三(37,2採) 技師補 中村雪夫
 技師補 坂元為雄 船舶手 峠坂清一郎 船舶手 峠坂清志 船舶手 田中
 盛隆
 技師 崎向 正(37,3転出)
 (試験乗組職員中36年度中に異動したが全年度報告に記載もれのものの変訂上記
 入した。)

組織機構及び職種別員数（3.8.3 現在）

	場長	部長	事務職	技術職	技術労務	特別臨職	計
本場	1						1
庶務部		1	5				6
漁業部		1		7	22	5	35
養殖部		1		3			4
製造部		1		2			3
調査部		1		4		1	6
大島 分場		1	3	7			11
大口養魚場		1		1	1	3	6
計	1	7	8	24	23	9	72

決算概要

県計上決算であるから経費を依頼者が直接負担した金額は含まない。

本場，分場，養魚場の計上予算で支出したもの（千円未満4捨5入）

吏員給，給料，職員手当	2 4 8 3 8	千円
旅費	2,449	
賃金	1,959	
消耗品	3,560	
燃料費	3,009	
修繕料	2,634	
備品費	2,824	
保険料	794	
その他	3,251	
計	4 5,318	

他に本庁計上の各目予算から令達を受けて支出したもの

旅費	334
消耗品	94
備品	289
その他	87
計	804

昭和 3 7 年 度
鹿 児 島 県 水 産 試 験 場 事 業 報 告

昭 和 3 8 年 1 2 月 印 刷
昭 和 3 8 年 1 2 月 発 行

発 行 所 鹿 児 島 県 水 産 試 験 場
鹿 児 島 市 塩 屋 町 1 8 番 地 の 7
電 話 (2) 6 4 1 5 . 6 4 1 6
印 刷 所 アルプス印刷有限会社
鹿 児 島 市 和 泉 屋 町 1 1 の 2 番 地
電 話 (2) 7 3 8 5